

# ローターアクトからロータリーへ

## ブリトニー・カットン、リズ・レインズ 現ロータリアン、元ローターアクター

私たちは、ロータリアンです。

私は、ブリトニー・カットンと申します。28歳で、国軍YMCAに勤務しております。私は、サンディエゴ大学でローターアクトの初代会長を務めました。ラ・ホーヤ・ニュー・ジェネレーション・ロータリー・クラブの創立会員で、広報委員長としてクラブ理事会のメンバーを務めた経験があります。

私は、リズ・レインズと申します。26歳で、ガールスカウトに勤務しております。サンディエゴ大学のローターアクト・クラブの元会長で、第5340地区のラ・ホーヤ・ニュー・ジェネレーション・ロータリー・クラブの元会長です。24歳で、私たちの地区の歴史の中で一番若いクラブ会長となり、非常に大きな人生経験をさせていただきました。現在は、ローターアクト委員長として地区で活動しています。

本日は、ここカリフォルニア州サンディエゴで、私たちがローターアクト会員からラ・ホーヤ・ニュー・ジェネレーション・ロータリー・クラブの会員となった経緯をお話しさせていただきます。

大学時代ローターアクターであった私たちは、力になってくださったロータリアン、海外での奉仕活動、地元での奉仕プロジェクト、そして多くのロータリーの会合を通じて、ロータリーとかわかってきました。私の父と祖父は、オレゴン州ポートランドのクラブの熱心なロータリアンでしたから、ロータリーは自然に私の生活の一部となっていました。しかし、ロータリーに対する熱意を強く抱くようになったのはローターアクトを体験してからでした。

ローターアクターからロータリアンとなることは、私たちにとって大きな意味がありました。それは、プロジェクトや会合で、それまで以上に、ロータリーの力を生かすことができるからです。ローターアクトでの経験はもちろん素晴らしいものですが、ローターアクト・クラブにはロータリー・クラブのような構造はありません。さらに、地区やほかのクラブとのつながりも、現在ほど強いものではありません。私たちは、ロータリー・クラブとして完全に機能し、専門職従事者のネットワークの一員となる準備が整ったと感じていました。ロータリーを通じて世界と地域社会をより良い場所にしようと活動している人々の仲間に加わりたいと考えていたのです。

ずいぶん若い頃から、いつかはロータリアンになりたいと考えていましたが、それがこれほど早く実現するとは思ってもみませんでした。私が訪問したクラブのほとんどは、年配の会員から成るクラブでした。これらのクラブではいつも素晴らしい体験をさせていただきましたが、若い社会人の会員は求められていませんでした。しかし、サンディエゴの地区ガバナー数名が、新世代のためのロータリー・クラブを創設してくださったおかげで、地域社会の若者がロータリーに参加できるようになったのです。

ここで、新世代のためのロータリー・クラブについてご紹介します。新世代のためのロータリー・クラブは、通常のクラブと同様に定款と細則に則って活動します。平均年齢は33歳です。毎週例会を開き、海外と地元で奉仕プロジェクトを実施します。また、親睦のために集まり、長時間の理事会会合にも参加します。会員は前向きな姿勢で熱心に奉仕活動に取り組み、それが私たちクラブの原動力となっています。温かく、打ち解けた雰囲気の中で、会員はのびのびと活動しています。会費は月に55ドルと低く、例会への出席規定にも柔軟に対応し、幅広い奉仕の機会があることから、軍人、教師、私たちのように非営利団体に働く人も含め、多様な会員を引きつけることが可能です。私たちは、仕事後の夕方に例会を開き、週末にプロジェクトの計画を立てます。このように毎週集まり、会員同士の絆を深めていることが、ほかの奉仕活動にはない私たちの特徴で

す。私たちは、自分たち独自のニーズと課題に取り組みながら友情を培っています。クラブでは、3人の会員が結婚し、1人が婚約し、赤ちゃんに恵まれた会員もたくさんいます。一方、独身生活を楽しんでいる会員も多数います。このように、人生の節目を共に祝いながらの活動が、クラブをさらに楽しく、親密なものにしています。

私たちのクラブには、16人のポール・ハリス・フェローと7人のマルチプル・ポール・ハリス・フェローがいます。また、ポリオ・プラスの目標もすべて達成し、ロータリー財団には、会員一人につき毎年平均で190ドルを寄付しています。私たちは、計画のすべてを仕事後の例会で低予算の食事を共にしながら行っています。クラブが誇りにしていることの一つは、ジャマイカ、キングストンに新世代のためのロータリー・クラブが結成された際に、支援を提供したことです。以前に所属していたローターアクト・クラブもキングストンに赴き、手伝ってくれました。これは非常に感動的な体験でした。リズと私は、再びキングストンに招かれ、クラブの加盟認証伝達式に出席しました。

「新世代のためのロータリー・クラブ」というアイデアは、私たちの地区ガバナーと、3つのクラブによって3年前に編み出されました。このアイデアは、元ローターアクト、若年層のロータリアン、若い社会人を会員として勧誘するために、地区全域で積極的に推進されました。人々との交流を求め、地元へ貢献したいと願うサンディエゴの若い社会人を集めるために、ソーシャルネットワーキングサービスのようなオンラインの手段も活用しました。私たちの会員の多くは、ロータリアンの家族や友人、ロータリアンの営む事業、ローターアクト・クラブを通じてクラブに入会しています。中には、飛行機での旅行中に偶然隣合わせたロータリアンに、クラブ例会に来よう説き伏せられたことがきっかけで入会した会員もいます。私たちは、あらゆる手段でクラブの推進に努めていますが、その中でもクラブに対する私たちの情熱が一番のセールスポイントでしょう。皆がロータリーに夢中なのです。

若い会員の奉仕への熱意を支え、成功を導いているのは、活発でペースの速い例会です。プロジェクトを計画するたび、会員はアイデアを絞り出し、創造性を培っています。これまでに、水プロジェクトの資金集めのためにボーリング大会を実施して5千ドルを募金したり、負傷した兵士のために物資を送ったり、会員が経営するショットバーでポリオ・プラスのために特別なカクテルを提供して500ドルを集めたりしてきました。月によっては5つのプロジェクトが同時に行われることもあるため、会員は、自分の関心とスケジュールにあわせて柔軟にプロジェクトを選ぶことができます。

若い会員を対象としたロータリー・クラブという概念は、ロータリーについて知るようになった若い社会人が増えると同時に広まっています。地区指導者の支え、地元のほかのクラブからの指導、奉仕に関心を抱く若いリーダーという成功の条件の下、新世代のためのクラブが次々と結成されています。

新世代のためのロータリー・クラブという概念は、皆さまのご支援により、今後ますます広がっていくでしょう。手を取り合えば、断絶した若者の世代とのつながりを築き、「超我の奉仕」の精神を分かち合う仲間たちとともに、生涯を通じて奉仕するロータリアンとしての道を歩んでいくことができるのです。